

直進はガレ左は
尾根道の看板

崖で登れない

鎌ヶ岳

笹が見えたので尾根
を登るが斜面が急

看板で道を確認するも赤
テープを目印に進み道迷い。
戻ることをせず、上に上に
とボロボロの斜面を登り、
山頂にたどり着いた。

ガレはまた今度のお楽しみと考えながら赤マーク通りに進む。どう見ても登山道には見えないがとにかく上へ上へ。だんだん傾斜はキツくなり花崗岩の岩肌は弱くて手をかけるとボロボロと崩れる。ウスウス気付いていたが・・・どうやら道を間違えたらしい。

左に尾根があり人が歩いている。上を見ると右方向は岩場でほぼ垂直の壁。あっちには行っちゃいけない。左を見ると笹が生えていてあちらなら行けるな。笹場まで行くと斜面はさらに傾斜を増し、胸が地面に付く斜面。

ここでやっと引き返そうか？と頭をよぎるがボロボロの斜面を無事下りられる気がしない。もう進むしかない。手をかけるのに丁度いい木があったので手をかけるとゴロっと落ちて行く。危なく直径30センチほどの木を抱いて落ちるところだった。(HP参照)

看板と赤テープを頼りに進んだが道迷い。道迷いしないためには、地図を見て「根拠を持って行動すること」が大切。つまり、「先読みをしない行動」は道迷いを起こし、更には急斜面で滑落し遭難に至る事例は多い。

ヒヤリハットの体験は、今後の行動に活かしてほしい。